

令和5年度 松井小学校 学校経営方針

学校教育目標・・・ **いのちと人権を大切にし、こころ豊かでたくましく生きる児童の育成**

目指す児童像・・・ **あいさつができ すくすく伸びる 松井っ子**

今年度の重点的取組

- ・ **深い学びへとつながる 対話的な授業の創造**
- ・ **笑顔で あいさつができる子の育成**
- ・ **自分も相手も大切にする 思いやりの心あふれる子の育成**

具体的取組

I 生きる力（知・徳・体）の育成

1 確かな学力の育成（知）

- (1) 学力向上へとつながる授業改善の推進
- (2) 学習規律の徹底と、基礎的基本的な知識・技能の定着
- (3) 家庭学習の強化（宿題の量、家庭学習チェック週間、家庭の協力）
- (4) 毎週木曜日「ノーメディアデー」及び「夜9時以降SNSやりません運動」の推進
- (5) 1人1台コンピュータを活用した学習指導の展開
- (6) 全国学力学習状況調査、多可町独自の統一テスト等の結果分析に基づいた指導改善の推進
- (7) プログラミング授業の実施による論理的な思考力の育成
- (8) 「第3次多可町子ども読書活動推進計画」に基づいた「読書活動」の充実

2 豊かな心の育成（徳）

- (1) 自分も相手も大切にするコミュニケーションの推進
- (2) 毎月はじめに行う「いのちと人権の集会」の充実
- (3) 基本的生活習慣の定着と規範意識の向上 ※「7つのやくそく」の徹底
- (4) 自己有用感を育む学校行事・児童会活動・学級活動等の取組

3 健やかな体の育成（体）

- (1) 体力・運動能力の向上
- (2) 基本的生活習慣の定着と感染症対策の徹底
- (3) 健康教育・食育の充実
- (4) 学校保健委員会の実施と活用

II 学級経営の充実

1 学級全体の指導

- (1) 学級児童の実態をもとにした学級経営案の作成と活用
- (2) いじめを生まない学級集団・児童の育成
- (3) 学級指導や学級活動を通じた好ましい人間関係の構築
- (4) ユニバーサルデザインを意識した教室環境づくり

2 個々の児童への指導

- (1) 児童理解及び実態把握に努めると共に、教育相談活動を充実させる
- (2) 児童との信頼関係に基づく生活指導の展開
- (3) 欠席・遅刻がちな児童に対しての早期家庭訪問の実施(不登校予防)
- (4) 家庭との連携 ※児童の様子について、こまめに家庭に連絡

III いじめに対する取組・指導

- (1) いじめ未然防止プログラムを活用した取組の推進
- (2) 早期発見に向けて、教職員の「いじめ」を見抜く目・許さない態度や意識の高揚
- (3) 初期対応がすべてという意識で、報連相を徹底した組織的な対応
- (4) 生活相談シート（児童用・保護者用）の複数人による確認の徹底

IV 特別支援教育の充実

1 指導・支援内容の検討・決定・共通理解

- (1) 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を開催
- (2) 関係機関・スクールカウンセラー等との連携により適切な教育的支援のあり方を検討

- (3) 全教職員による指導・支援内容の共通理解
- 2 ニーズに応じた合理的配慮の提供とサポートファイルの活用
 - (1) 保護者との合意形成を図った上で、障害の状態に応じた合理的配慮を提供
 - (2) 長期的視点に立ち継続的な支援を行うため、「サポートファイル」の活用を推進

V 特色ある活動の推進（あいさつの取組）

- (1) 「いつでも・どこでも・だれにでも」を合い言葉に、あいさつ運動を推進
- (2) 「あいさつ名人」を認定し、あいさつ運動を推進

VI 防災・安全教育の充実

- 1 安心・安全な学校づくり
 - (1) 登下校時の安全確保（防災無線の活用と見守りボランティアの強化）
 - (2) 校内の安全確認・点検
 - (3) 教職員の危機管理に関する研修会の実施
- 2 防災・安全指導
 - (1) 自分の命は自分で守るための「安全」に関する知識・技能の指導
 - (2) 危機察知能力や危機回避・対応能力の育成
 - (3) 感染症や熱中症予防への対策指導

VII キャリア教育の推進

- 1 将来へのつながりを意識した学習・活動の指導
 - (1) キャリア教育全体計画の推進（必要に応じて見直し・検討）
 - (2) 学習や活動目的の明確化・体系化
- 2 夢や目標を持ち、具体の計画を立て、それに向かって進んでいく力の育成
 - (1) 将来、社会の一員として児童に身につけさせたい能力・技能を意識した指導
 - (2) 学校行事・児童会活動・学級活動等における児童が担う役割や責任分担の明確化
 - (3) 児童の活動に対する関心・意欲の高揚と自発的な態度の育成

VIII ふるさと多可町を愛する子どもの育成

- (1) 「多可町探検」等、多可町のよさが実感できるような体験学習を発達段階に応じて実施
- (2) 「わたしたちのふるさと多可町（ふるさと教育副読本）」「ふるさと教育指導書」「杉原紙の歴史」等の積極的な活用
- (3) 「ふるさと検定」への参加

IX 組織力・チーム力の向上

- (1) 学校経営方針を周知し、教職員の個人目標に反映させる
- (2) 全教職員の共通理解のもと、同一步調で教育活動を展開
- (3) 大きな行事・活動等は、係を中心として全教職員でサポート
- (4) 一部の教職員の負担過重とならないよう、必要に応じて複数の教職員による指導体制を確立
- (5) 報告・連絡・相談を徹底し、組織的な対応に努める

X 開かれた学校・信頼される学校づくり

- (1) 学校情報の発信（オープンスクールの実施、学校・学級・各係から通信発行、HPの更新）
- (2) コミュニティ・スクールによる学校・家庭・地域の連携・協働体制を構築する
- (3) PTA役員や保護者との密な情報交換・連携
- (4) 学校教育評価を生かした取組改善（PDCAサイクル）
- (5) 「まつ☆サポ」（松井小サポートネットワーク）の組織拡大

XI 教職員の心身の健康保持

- (1) 校務支援システム、1人1台タブレットの有効活用等による業務改善
- (2) 定時退勤日（木曜日）の実行
- (3) 何でも話し合える風通しのよい職員室の雰囲気づくり
- (4) 一人で悩みを抱え込まず、気軽に相談でき、支援を求めることができる体制づくり